

園芸振興大会の開催について

若者が魅力を感じる活力ある園芸産地の創出に向け、先進事例を共有化し、産地と関係機関が一体となった産地育成の取り組みの加速を図るため新潟県、JA新潟中央会、JA全農にいがたは「令和4年度新潟県園芸振興大会」を開催いたしました(会場：ANAクラウンプラザホテル新潟)。

○今年度も、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、消毒液の設置、入室時の検温、席間の間隔をとるなどの対策を講じ、開催いたしました。



★会場には、佐久間副知事、JAグループ伊藤会長ほか、JA・関係機関・生産者が参集し、会場外リモートを含め、354名が参加しました。



● 主な大会内容

(1) 情勢報告

- ア. 「新潟県園芸振興基本戦略の中間評価と今後の取組方向について」(新潟県)
- イ. 「新潟県園芸振興基本戦略 JAグループ実践方針のこれまでの総括と今後の取組方向について」(JA新潟中央会、JA全農にいがた)

(2) 講演

- ア. 「若者が魅力を感じる活力ある園芸産地を目指した取り組みについて」
(JA新潟かがやき)
- イ. 「アフターコロナにおける東急ストアの取り組みについて」((株)東急ストア)

(3) 産地の意気込み披露 北越後農協オータムポエム部会



● 更なる園芸生産拡大に向けて

新潟県園芸振興基本戦略は令和元年7月に策定され、令和3年度までの取り組み内容や目標達成状況を検証・評価し、後半3年間の推進方法を見直しました。

JAグループ実践方針についても、「新潟県園芸振興基本戦略」の見直しをふまえ、園芸の新規導入や拡大に向けた取組具体策を継続・補強しました。

最後に・・・



JA全農にいがたは、今後も園芸生産拡大に向けて、生産基盤強化と販売力強化の両面から引き続き支援を行っていくとともに、関係機関と連携しながら、1億円産地づくりに取り組んでまいります！



(園芸部 園芸振興課)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。